昭和28年（1953年）　9月12日（土曜日）　第5530号

磐城日日

昭和25年10月6日　第三種郵便物認可　運輸省特別扱承認第684号　月ぎめ「除月曜」

発行所　社団法人磐城日日新聞社
福島県小名浜町港通51番
電話代表387番
編集兼発行人　一瀬誠長

紙・雑誌・機関
チラシ
事務用印刷物
長瀬印刷所
TEL 219・387

江名町臨時町議會

追加豫算二百萬決定

議員は定数ギリギリ

江名町臨時議會は十日午前九時から役場会議室で中田町長、伊藤助役、吉田收入役、加瀬總務課長、東海林水道部主任らが參與して開かれ、町長の權限に屬する事務を分掌する條例設定に關する件を撤回したほか原案通り可決して午後六時閉会した

可決された議案第一號は仝町中山茂吉さんほか四名から家族死亡による追善にと寄附の申出のあつた三万四百五十円をそれ〳〵採納することに決定▽第二號議案＝町税條例中改正條例設定の件、これは原動機付自轉車より年額五百円、鑛泉入湯税一人一日について二十円を町税として徴集する條例の一部改正である▽議案第三號＝廿八年度における期末手当の支給の特例に關する條例設定の件で町吏員、教育委員会教育長及び事務局職員に対する期末手当條例の設定をなすものである▽議案第四號＝町長の權限に屬する事務を分掌させるための課設置の件は經濟課を總務課に編入して總務、税務、民生の三本建てにするものであるがこれは現行通りにすることにして撤回された

第二保育所とする

盡食後再び再開▽江名町廿八年度追加更正予算▽江名町上水道歳入歳出追加更正予算の審議に移りこれを原案通り可決した

この廿八年追加更正予算とは二十九年度において仝町第二小学校一教室を百万圓で増築するほか下神白公民館分館建設の六十五万円、仝町折戸字岸浦から江名字江の浦に至る道路の舗装工事の二百五十万円縣と町で半分づゝ負擔する、中の作魚市場前道路の舗装二百六十万圓の半分町負擔などである

▽欠席議員＝金成文平、小松敬次郎、金成徳治、坂本喜代松、吉田六左衛門、新妻茂、坂本拾吉、中田善三郎の八議員

解禁繪戰は金華山沖か

体長二十七センチと群は大粒

道水研の發表によれば例年三陸沖で見られる体長二十七糎台のサンマ群は大黒島南十浬にみられ、六糎台の寒冷水帶は釧路近海にあつてこの辺には釧路三百十七浬附近では体長二十五糎台の南京サンマと二十二糎台の若年サンマがみられる、釧路沖一五里には今までなかつた体長十七糎台の小型サンマが發見されている解禁当時の体長組成は体長モード二二糎内外の小型であつたが最近は大型に移行し、主群は二十七糎をモードとする中大型群となつて來ている

サンマ解禁本日前

漁報各地から刻々入電

先月中氷揚の最高を示した鰹鮪船ときよう午前六時を期して出漁するサンマ船の十一日現在の各船の情報を纒てみよう、なおこの情報は十日午前七時十五分小名浜沿岸漁業用無線がタッチしたものである

◉鰹鮪、延繩關係

※榮福丸（八三、六三噸）＝船主江名町字折戸澤助一さん＝唐桑八十浬、追風良く歸航中曇り

※第十一長榮丸（七八、〇四噸）＝船主江名町字釘釘の影響のためか色良く群見ず、また南及び東側のエリモ崎南西八十浬附近の水温一八度から一九度後十一時水温一六度から一六度八分にて薄いシラミ群、東経一四八度八分北緯四二度四五分（金華山北東百五十浬

※共榮丸＝千葉縣水産高校練習船＝昨夜（十日夜）東経一四四度、北緯四〇度、四五分（金華山沖百八十浬）水温一九度一分群なし

※第五東丸＝神奈川縣三崎港所属鰹鮪船＝九日午付不良、敷固操業五百貫魚体やゝ小型

※第三海津丸（九九、九七噸）＝船主小名浜榮町鈴木房吉さん＝午後三時石の巻港を出發一路漁場向け航行中、明日（十一日）宮古着の予定

※磐城丸第二信＝昨夜（十日夜）午後六時東経一四度三九分、北緯四〇度三九分（金華山北東百浬）附近、シラミ群多くも

鐵道荷主懇談會

サンマ漁に運輸を円滑

小名浜臨港鐵道KK及び江名鉄道KKでは十日豊間、江名、小名濱の水産加工業者など十九名を集めて午後一時から臨海荘で荷主懇談会を小名臨鐵から伊藤運輸課長、江名鐵道河合常務取締のほか臨鐵泉、小名浜、宮下江名鉄道永崎、江名各駅長が出席して開かれサンマ輸送に關する懇談会を開いた

小名浜臨港鐵

第930號　昭和28年（1953年）9月12日　土曜日　磐城日日　一部賣3円　郵便定額一ヵ月80円　可認物便郵種三第

天高く女肥ゆる候は野球シーズン

涼しとは云え、冷夏異変と云はれた今年の夏も暑さを避けて僅かに夕暮の黄昏時を利用して練習試合に終つていたスポーツ殊に野球界は虫の音のかしましさと共に盛況を得て、天高く女肥ゆるの候は野球シーズンとして陽焼けする必配もなく老いも若きも男も娘もベースボールの涼味を滿喫する野球シーズン、小名浜地方戰は小中學校の運動會と共にノエ運動具店主催第一回SG片浜社會人野球大會を皮切りに陸續と幕を切られ、最大の盛事、讀賣旗爭奪戰にその幕を落そうとしている

讀賣旗爭奪（軟式）野球

悼尾の球宴小名浜に開催

讀賣旗爭奪福島縣軟式野球選手權野球大會は小名浜有史最大の球宴として十月二十四、二十五の兩日に亘り、一中、水素の兩グランドに於て華々しく擧開される事になり、小名浜野球協會が中心となり町役場、觀光協會等の協力を得て開催準備に大童である

讀賣旗爭奪福島縣軟式野球選手權野球大會は小名浜有史最大の球宴として十月二十四、二十五の兩日に亘り、一中、水素の兩グランドに於て華々しく擧開される事になり、小名浜野球協會が中心となり町役場、觀光協會等の協力を得て開催準備に大童である

讀賣旗爭奪福島縣軟式選手權試合は、縣下軟式野球界シーズン悼尾を飾る最大行事として最も長い傳統と歴史を誇つているものである

全小名浜はこの讀賣旗に三度選手權獲得の偉業をなしているが、先づ第一回は昭和十六年、大山—高石のバッテリーをもつて優勝し、次いで戰後の復活に昭和二十五年　原ノ町に於ける大會に藏谷監督以下の奮斗は再度の榮冠となり、昨二十七年は郡山市に於て宿敵日東紡郡山第二軍を擊破、遂に三度制覇の偉業を成して軟式野球界に全小名浜不滅の榮光を銘じたのである

大會々場は同大會恒例に倣され事になり、本年度軟式野球界の總まくり反省、來年度への躍進を協議する事になつた

小名浜町職場野球連盟（會長志賀要平氏）幹事會は十日午後七時から信用金庫二階に會長、副會長以上各チーム幹事（磐日青果、保安部、郵便局欠席）出席して開かれ、秋期大會日程その他を協議決定した

▼新加入布望として、慧星の如く現れて名だたる強豪をなぎ倒おしている地區漁業協同組合の他運輸省小名浜工事々務所のB、專賣公社小名浜工場の三チームから加入申請があつたが、漁協チームをAクラス、他をBクラスに編入することとして加入を承認した。この三チーム新加入によつて先きに加入した旅館組合と共に職場野球は二十一チーム加盟となり今後は職場色豊かなバライテイに富んだ珍、好試合を展開するものと期待される

▼秋季大會の日程については十月三、四、十、十一の土、日曜四日と決定した

▼從來連盟所有の器具道具などは消防署が保管々理していたが貸與規程がなかつたため不便を來たしていたが今回小名浜町本町）は來る二十、三、七の三日に亘つて第一回SG杯爭奪片浜社會人軟式野球大會を小名浜野球協會、同職場野球連盟主催で開催する事になり、本年度優勝チームである小名浜有史以來の最盛球宴として會長石井正氏が中心に町役場、觀光協會の協力を得て着々準備を進めている

縣軟式野球連理事会

新春の躍進期し小名浜に開催

福島縣軟式野球連盟理事會は讀賣旗爭奪戰と共に十月の二十四、五の兩日に亘り小名浜町に於て開催される事になり、本年度優勝チーム所在地である小名浜が決定したもので小名浜野球協會は有史以來の最盛球宴として會長石井正氏が中心に町役場、觀光協會の協力を得て着々準備を進めている

小名浜町職場野球連盟理事會長志賀要平氏）幹事會は十日午後七時から信用金庫二階に會長、副會長以上各チーム幹事（磐日青果、保安部、郵便局欠席）出席して開かれ、秋期大會日程その他を協議決定した

▼新加入布望として、慧星の如く現れて名だたる強豪をなぎ倒おしている地區漁業協同組合の他運輸省小名浜工事々務所のB、專賣公社小名浜工場の三チームから加入申請

強豪漁協秋季戰に參加

小名浜職場野球秋の日程定む

印刷　御用命ハ　電219

片濱社會人野球

SG社から大優勝カップ

〃絶對定價販賣〃と云うガンコを賣りものに開店した野家運動具店（小名浜町本町五八番地）は來る二十、三、七の三日に亘つて第一回SG杯爭奪片浜社會人軟式野球大會を小名浜野球協會、同職場野球連盟主催で開催する事になり、本年度軟式野球界の總まくり反省、來年度への躍進を協議する事になつた

小名浜町職場野球連盟（會長志賀要平氏）幹事會は十日午後七時から信用金庫二階に會長、副會長以上各チーム幹事（磐日青果、保安部、郵便局欠席）出席して開かれ、秋期大會日程その他を協議決定した

▼新加入布望として、慧星の如く現れて名だたる強豪をなぎ倒おしている地區漁業協同組合の他運輸省小名浜工事々務所のB、專賣公社小名浜工場の三チームから加入申請があつたが、漁協チームをAクラス、他をBクラスに編入することとして加入を承認した。この三チーム新加入によつて先きに加入した旅館組合と共に職場野球は二十一チーム加盟となり今後は職場色豊かなバライテイに富んだ珍、好試合を展開するものと期待される

▼秋季大會の日程については十月三、四、十、十一の土、日曜四日と決定した

▼從來連盟所有の器具道具などは消防署が保管々理していたが貸與規程がなかつたため不便を來たしていたが今回小名浜町本町